子どもを 非行に走らせない ための 家庭の心構え!!

もうすぐ夏休みですね。子どもたちにとって、学校生活から開放されるこの時期は、自由で楽しい反面、生活のペースが乱れがちになり、ちょっとしたきっかけや弾みで非行に走ってしまう危険な時期でもあります。

そこで今月号では、凶悪で粗暴な犯罪が増加している少年非行の現状と、子どもたちを非行に走らせないための家庭の心構えを考えていきたいと思います。また、先月七日には、青少年健全育成村民会議の総会が行われました。その際に、下越教育事務所「いじめ相談電話」の相談員・中村保夫氏による『電話相談からみたいじめの実態と問題』と題する講演が行われましたので、その内容の一部をご紹介します。

警察庁のまとめによると、平成七年中に刑法犯として補導された少年（十四～十九歳の男女）は約十二万六千人。前年に比べ約五千人減りました。しかし、成人を含めた刑法犯の総検挙人員の半数近くを少年が占めており、依然、少年非行は憂慮すべき事態にあります。

■凶悪事件や集団犯罪が場加

犯罪の内容を見ると、最も多いのは万引きなどの窃盗犯です。ここ数年の傾向としては、恐喝や強盗、放火といった凶悪で粗暴な事件が増えています。中学生によるタクシー強盗事件（京都府）や連続放火事件（茨城県）など、これまで大人によるものと思われていた犯罪が、少年によって引き起こされています。

少年非行のもう一つの特徴として犯罪の集団化が挙げられます。専門学校生六人による睡眠薬を利用した連続強盗・婦女暴行事件（神奈川県）や、無職の少年らによるリンチ殺人事件（大阪など三府県）など、非行グループによる犯行が目につきます。集団化することで犯罪の度合いが拡大し、事件の凶悪化を招いています。また、最近では、いじめが原因で起こる事件や女子が性的被害を受けるケースが増えています。

■凶悪な犯罪へとエスカレート

少年非行はいつも、万引きなどの軽い犯罪から始まり、次第に集団による恐喝や暴行など凶悪な犯罪へとエスカレートしていきます。日ごろから、家族など周りの人がその兆候を早く発見し対処することが、非行を未然に防ぐためのポイントです。

非行に走る主な兆候

こんなサインが出たら要注意

- ●行き先を言わず外出したり、帰宅時間が不規則で遅くなったりする
- ●夜遊びや外泊が多くなる
- ●友達が変わり、柄も悪くなる
- ●髪を染めたり、ピアスをするなど髪形や服装が派手になる
- ●落着きがなくなり、うそをついたり家族との対話を避けたりするようになる
- ●ささいなことで怒るようになり、親に反抗するようになる

★★★子どもの言動に注意し 非行の 芽を早めに摘み取る★★★

少年非行

いじめが原因の事件や女子の性的被害などが増加

ここ数年みられる少年非行の特徴として、犯罪の凶悪化・集団化が進む一方、次のようなケースが挙げられます。いじめが原因で起こる事件やテレホンクラブなどをきっかけとした女子の性的被害の増加、覚せい剤など薬物乱用の低年齢化などです。個々のケースについて、その現状を確認し、注意すべき兆候をみてみましょう。

【いじめによる事件の増加】

いじめが原因で自殺したり、仕返しのために殺人に及んだり――。平成七年中に警察庁が扱ったいじめを原因とする事件数は百六十件。前年に比べ約五十五％の増加です。また、補導した少年も五百三十四人と約四十四％も増え、いじめに端を発した傷害事件などの発生が、少年非行における深刻な問題となっています。

〈いじめの場合に注意する兆候〉

- ●表情が暗くなり、口数も少なくなる
- ●持ち物が少なくなったり、壊れていたりする
- ●家から無断で品物やお金を持ち出すようになる
- ●衣服が汚れていたり、ケガをしていたりする
- ●学校を早退してくる
- ●登校時間になると突然体の具合が悪くなる

【女子の性的被害の増加】

見知らぬ異性同士が電話で簡単に知り合えるテレホンクラブ。このクラブをきっかけに性的被害を受ける女子が増えています。ある調査によると、女子中学生の約三十％がテレホンクラブに電話経験ありと答えています。これに対し母親の約九十四％は「うちの子どもは利用したことがないと思う」と答えており、親の認識の甘さが目立ちます。

〈テレホンクラブなどの場合に注意する兆候〉

- ●見慣れない物や高価な物を持つようになる
- ●年令に合わない恰好をする
- ●ポケットベルを使うようになり、頻繁に呼び出され外出する
- ●家出をしてもお金に困った様子がない

【薬物乱用の低年齢化】

覚せい剤を使用していた小学生が補導されるなど、低年齢化が進む薬物汚染。これまでほぼ暴力団員に限定されていた購入ルートが変化し、街角で簡単に購入できるようになったことや、以前のような注射器を使わなくても使用できるようになったことなどで、少年たちの薬物使用に対する罪悪感が薄れてきています。

しかし、入手方法や使い方は違っても、覚せい剤を使用した人の悲惨な末路には変わりはありません。

――新潟県けいさつ――
いじめノックアウト
悩み、そっと相談してみませんか
ヤングテレホン
ツラサハッサン ヨクナレ
025-283-4970
●電話受付時間
月～金
AM8:30～PM5:15